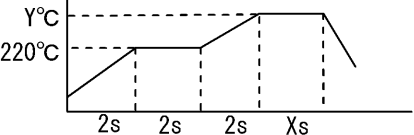


適用規格						
② 定 格	使用温度範囲	-55℃ ～ 85℃ (注1)(注2)	保存温度範囲	-10℃ ～ 60℃ (注3)		
	電 圧	AC 60 V (注5)	使用湿度範囲	相対湿度85 %以下 (注2) (注4)		
	電 流	0.5 A (注5)	保存湿度範囲	相対湿度70 %以下 (注3) (注4)		
	適 合 電 線	極細同軸線：AWG 36，40 / FFC (注6)				
性 能						
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT	
構 造	外観、構造及び 仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○	
	表示	目視にて確認する。		○	○	
電 気 的 性 能	接触抵抗	20 mV以下、1 mA (DC OR 1kHz)で測定する。	80 mΩ以下 (注7)	○	—	
	絶縁抵抗	DC 100V で測定する。	500 MΩ以上	○	—	
	耐電圧	AC 200Vの電圧を1分間印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	—	
機 械 的 性 能	総合挿抜力	適合コネクタで測定する。	差込力 15.5 N 以下 引抜力 1.55 N 以上	○	—	
	繰り返し動作	50 回の抜き差しを行う。	① 接触抵抗：初期からの変化量20mΩ以下 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—	
	耐振性	周波数 10 ～ 55 Hz，片振幅 0.75 mm， 3 軸方向各 2 時間試験する。	① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—	
	耐衝撃性	加速度 490 m/s ² ，持続時間 11 ms， 正弦半波 3 軸方向各 3 回試験する。		○	—	
	ロック強度	適合コネクタと嵌合して嵌合方向へ水平に 引張る。	30 N 以上	○	—	
環 境 的 性 能	定常状態の耐湿性	温度 40℃、湿度 90～95% 中に 96 時間放置する。	① 接触抵抗：初期からの変化量20mΩ以下 ② 絶縁抵抗： 500 MΩ以上 ③ 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—	
	耐熱性	温度 85℃ 中に 96 時間放置する。		○	—	
	温度サイクル	温度 -55 → +5～+35 → +85 → +5～+35℃ 時間 30 → MAX 5 → 30 → MAX 5 分 を 5 サイクル試験する。		○	—	
	塩水噴霧	濃度 5 %の塩水、48 時間放置する。	① 接触抵抗：初期からの変化量20mΩ以下	○	—	
	二酸化硫黄	濃度 25 ppm，96 時間放置する。 (試験規格：JIS C 60068)	② コネクタの機能を損なう様な腐食等 がないこと。	○	—	
	はんだ耐熱性	【一括はんだ付け装置の場合】 加圧力：15±2N、下記プロファイルで行う。 (同軸線)本加熱 Y:275±5℃ X:2±0.5秒 (FFC)本加熱 Y:265±5℃ X:2.5±0.5秒  【はんだごて】こて温度 360℃ はんだ付け時間 3 秒以内 但し、端子に力を加えないこと。	外観の変形及び端子などに著しいガタの 無いこと。	○	—	
	はんだ付け性	はんだ温度 240±3℃、浸せき時間 3 秒の はんだ付けを行う。	はんだ浸漬面の 95 %以上が 新しいはんだでぬれていること。	○	—	
②	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日	
	2	DIS-F-004353	KN. SHIBUYA	HT. YAMAGUCHI	09.12.15	
備考	注1. 通電時の温度上昇を含みます。 注2. 使用湿度が80%を超える場合の使用温度範囲は-55～40℃とします。 注3. ここでの保存とは、未使用品およびハーネス後の輸送を含む基板搭載前の長期保管状態を表します。 注4. 但し結露のないこと。 注5. コネクタとしての最大値となります。使用する電線の仕様を確認下さい。 注6. 弊社指定の端末処理を行い、コネクタに結線可能なFFCのみとなります。 注7. 電線の導体抵抗は含みません。 ※試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。			承認	HS. OKAWA	08.04.07
				検 図	HT. YAMAGUCHI	08.04.07
				担 当	KN. SHIBUYA	08.04.04
				製 図	KN. SHIBUYA	08.04.04
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目			図番	SLC4-157674-00		
HRS	製 品 規 格 表		製品名	FX16-31P-0.5SD		
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL575-3302-0-00	② 1/1	